



the most beautiful  
villages  
in japan

日本で最も美しい村 東白川村  
次世代に繋ぐ地域の絆、再生する村づくり

東白川村議会活動情報紙

# くらしと議会



▲ 新執行部と議会新体制の集合写真

No.194

2026. 5.15

年4回発行  
定例議会毎

## 第1回 議会定例会

- 02 3月定例会／令和8年度予算関連等
- 04 一般質問
  - 04 義務教育学校について ／ 今井美和議員
  - 05 地域防災体制について ／ 安保泰男議員
  - 06 高齢者福祉について ／ 桂川一喜議員
- 07 議会のあしあと ／ 議会新体制
- 08 議長・副議長就任のあいさつ

人口 1,928 人

[ 令和8年 4月 30日現在 ]

発行：東白川村議会 編集：議会報編集委員会

〒509-1302 岐阜県加茂郡東白川村神土 548 番地 ☎ 0574-78-3111 <https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/>

# 令和8年第1回定例会を開催



全会一致で予算を承認しました

令和8年第1回定例会が、3月3日に開会、一般質問には、3人の議員が登壇し、大所高所から村政にかかる質問を行いました。

提出された議案は、条例改正11件、補正予算7件、人事案件9件、その他案件2件と、令和8年度予算7件（2事業会計含）を審議し、それぞれ可決、同意、承認し3月10日に閉会しました。

## ◆条例案件3件

①空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例

②自然環境保全条例の一部を改正する条例

③火入れに関する条例の一部を改正する条例

## ◆補正案件7件

①令和7年度一般会計補正予算（第10号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7903万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ37億4409万6千円としました。

## （主な内容）

▽財政調整基金積立金297万6千円追加、行政情報化推進費269万9千円減額、総合行政情報システム運営費2031万5千円減額、CATV危機管理運営費108万4千円追加、【重点支援】調整給付金事業（給付金・定額減税一体支援）179万円減額、【重点支援】消費者生活支援事業150万円追加、戸籍電算化システム運営事業198万4千円減額、介護保険特別会計繰出金123万6千円減額、障がい福祉サービス事業572万1

## 賛成討論

### 樋口春市議員

令和8年度の予算案に対して賛成の立場から意見を申し上げます。

村では第6次総合計画の前期最終年度であり将来に向けた持続性ある村づくりを柱として人口の安定、人口規模にあった社会インフラ、人生100年時代に向けた対応、地域資源の活用、自然を守る取り組みを達成するための予算編成に取り組みされたものと思います。

農業振興では中山間地域等直接支払推進事業の第6期対策、多面的機能支払交付金事業などを活用して農地の適正な管理と農地の保全に努め森林環境譲与

税など国、県の制度を活用し森林整備、林業の担い手育成を進め農林業の更なる活性化に期待します。商工業では、つちのこメンバ-



賛成討論を行う樋口議員

ズカード事業、フォレスタイル事業等の推進や、ふるさと納税のポータルサイトの追加と返礼品の充実で目標額2億円の達成に期待します。また、4大イベントの開催で村外からの多くのお客様を迎え、村に活力が出て来ることを期待します。

すみよさのある村づくりでは、つちのこバス、中核病院通院バス、医療機関等送迎サービス等の継続により、住民の皆さんには安心、安全にお出

千円追加、診療所特別会計運営費繰出金444.9万2千円追加、予防接種事業280万円減額、簡易水道事業会計補助金146.6万3千円減額、生活排水対策事業35.5万5千円減額、基幹農道神土線舗装工事44.4万9千円減額、県営中山間地域総合整備事業78.7万1千円減額、地域産業活性化対策事業205万5千円追加、地籍調査事業229.2万円減額、道路橋梁維持事業74.2万5千円追加、道路橋梁災害復旧事業162.7万8千円減額、河川災害復旧事業268.6万6千円減額、その他各種事業の確定による減額等

②令和7年度東白川村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
補正額49.9万3千円追加：国民健康保険基金積立金50.1万7千円追加ほか

③令和7年度東白川村介護保険特別会計補正予算(第3号)  
補正額40.4万8千円減額：居宅介護サービス給

④令和7年度東白川村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
補正額28万円追加：医療設備等整備基金積立金28万円追加ほか

⑤令和7年度東白川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)  
補正額94万8千円減額：後期高齢者医療広域連合納付金の減額

⑥令和7年度東白川村簡易水道事業会計補正予算(第5号)  
補正額：資本的支出補正額124.9万9千円減額：建設改良費129.1万7千円減額、基金積立金41万8千円追加ほか

⑦令和7年度東白川村小規模集合排水処理事業会計補正予算(第2号)：1千円追加：利息の追加

◆その他案件1件  
①東白川村公の施設の指定管理者の指定について

②東白川村と美濃加茂市との間の学校腎臓検診事務の委託について

人権擁護委員、固定資産評価審査委員会委員、国保診療所運営委員をそれぞれ選任  
正予算(第1号)

3月定例会では、同意案件として、任期満了に伴う各種委員を選任しました。

▽人権擁護委員：伊藤保夫氏(日向)  
▽固定資産評価審査委員会委員：新田充氏(加舎尾)、安江雅信氏(日向)、今井直美氏(下野)  
▽国保診療所運営委員：古田紀代子氏(平)、島倉誠氏(平)、神戸景典氏(平)、古田茂樹氏(久須見)、荻田喜美子氏(曲坂)

令和8年度  
新年度予算を承認  
3月定例会は、いわゆる新年度予算の認定議会となります。今定例会では一般会計、4つの特別会計、2つの企業会計を審議し承認しました。また関連の12件の条例と、追加案件で補正予算1件を可決しました。

①令和7年度一般会計補正予算(第8号)：補正額42.1万4千円追加  
◆補正予算1件  
①令和7年度一般会計補正予算(第9号)  
補正額84.12万1千円追加

「特別会計」  
②国民健康保険 2億8000万円  
③介護保険 3億円  
④国保診療所 2億6500万円  
⑤後期高齢者医療 6400万円  
〔企業会計〕  
⑥簡易水道事業 4億1492万円  
⑦小規模集合排水処理事業 3633万円  
◆補正予算1件  
①令和7年度一般会計補正予算(第11号)：補正額58.8万9千円追加

かけただけのものと思いません。出産から高校卒業まで子育て世帯への手厚い支援の継続を評価します。安心して暮らせる、やさしさのあるむらづくりでは神土、五加の交流サロンの、越原センターでの地域交流を通して仲間づくりや地域の支え合いに期待します。令和7年に購入した体成分分析装置の活用や乳幼児、高齢者を対象に、様々な予防接種費用の助成等、手厚く切れ目のない支援で健康を維持していただけるものと思います。

これまでの幅広い子育て支援施策が、つながるナビ、移住定住、空き家の活用などで人口の安定につながることを見込んでいます。医療福祉分野では年々利用者の減少で経営が悪化し、財政負担が増加しています。村民に愛され親しまれ利用される医療機関となれるよう研修の機会を増やすなど、職員の意識改革を含め常にサービスの向上に努め保健・医療・介護(福祉)が三位一体となつて体制の充実を図り、利用者の増加に努力されることを期待しています。

令和9年度開校予定の義務教育学校東白川学園については子供達が楽しく有意義な生活を送る事が出来るよう万全の準備をお願いします。

簡易水道の水道管の漏水が頻繁に発生しています。早期の発見、復旧に努めていただく事は当然ですが、施設の老朽化、耐震対策、水道管の布施替えには多額な費用がかかりますので、長期の計画を立て進めて下さい。

昨年7月と9月に発生した局地的な豪雨災害の復旧を今後最優先に進めていただき今後起こりうる有事の備えに万全を期して下さい。

4月には新村長が誕生し新施策や新規事業に取り組まれると思います。長引く物価の高騰で疲弊する地域経済、住民の皆様様の生活を支えるべく職員の皆様には汗をかいて、知恵を出していただきますようお願いを申し上げます。

# 一般質問 (今井美和議員)



## ・義務教育学校について

**Q. 東白川村が義務教育学校を設置する目的と、目指す学校像は。**

義務教育学校開校に向け、小規模だからこそ実現できる教育の形、東白川村ならではの魅力ある学校づくりを進めることが重要だと考えますが、義務教育学校の設置の目的と基本方針は。

**A. 子供の数を増やし、学校の活力を維持することが目的です。**

【教育長】

目指す学校像については、村の教育目標である「村を愛し、よりよい生涯と社会を築くために、心豊かにたくましく生きる人間性の育成」を目指しています。9年間の課程を通して、自信と誇り、感謝の心を持ち、未来をたくましく生きる子を育てたいと考えています。そのために、子供たちが主体性を持って取り組む学びを大切に、また、人とのつながりを大切にしたいと考えています。

**Q. 義務教育学校開校までのスケジュールと現在の進捗状況は。**

**A. 設立準備委員会を中心に細部は、3部会で検討し決定。**

【教育課長補佐】

教育課程部会では、学校の教職員の方を中心に学校のカリキュラム、学校計画の編成につき、詳細な検討を進めています。運営部会については、学校施設の改修計画内容の確認をいただきま

した。基本設計、詳細設計において、内容につき、確認いただき、その内容を盛り込んで工事を迎える予定です。広報・庶務部会については、学校名の募集は、最後は小・中学生にアンケートを取り、「東白川学園」で決定しました。その他校歌や校章、制服について今も検討中です。校歌については、最終的に既存の校歌を残す方向で決ま

り、校章は決定致しました。また、制服については現在検討中です。  
**Q. 計画を確実に進めるための体制は。**

校名、校章が決まり校歌、制服、そしてスクールバスの運行、改修計画など、多くの準備があるため、来年4月の開校に間に合うか心配です。

**A. 課題の洗い出しは大半が終わっています。慌てずに一つずつ課題をクリアしてまいります。**

【教育課長補佐】

体制については現在設立準備委員会が中心となり、検討事項の協議を行ってまいります。各部会では課題の慎重審議が進められており、体制については特に心配をしていません。教育課程が順次決まれば、その内容についての決定は、それほど時間を要しないと考えています。いずれにしても、課題の洗い出しは終わっており、慌てずに一つずつ課題をクリアしようと計画をしています。

**Q. 今後の情報発信や取組の周知について**

開校に向け子供たちや保護者、地域の皆様の期待感を高めるために、現状や今後の計画などを周知するべきでは。

**A. 土台固めが終わった段階で、広報紙等を活用**

【教育課長補佐】

現状では、学校名は既に広報しています。学校の中身についての広報は、難しい部分もありますが、大部分がしっかりと決定して、土台固めが完全に終わった段階で広報紙等を活用し啓蒙していきます。

**Q. 教育内容、カリキュラムの特徴について**

義務教育学校として東白川ならではの特色ある教育の想定は。

**A. ふるさと教育、村民学、東白川学といったような内容を想定。**

【教育課長補佐】

ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を培う。ふるさとに住み、子育てをする人を増やす。ふるさとの発展を考え、行動する人を増やすといったことを狙いとして、発達段階に応じた学びを行います。とを考えています。  
**Q. この学校でよかったらと実感できる学校運営を行うため、最も大切にしていきたいことは何か。**

開校まであと1年、義務教育学校の設置は、村の教育の将来を左右する大きな決断です。義務教育学校に通う子供たちやその保護者が、この学校でよかったらと実感できる学校運営を行うため、最も大切にしていきたいことは何か。

開校まであと1年、義務教育学校の設置は、村の教育の将来を左右する大きな決断です。義務教育学校に通う子供たちやその保護者が、この学校でよかったらと実感できる学校運営を行うため、最も大切にしていきたいことは何か。

**A. 東白川学園に関わる教職員、保護者、地域住民など全ての人々が、みんなで子供たちを育てていくという思いを持つことが大切。**

【教育長】

村長が大切にしている「子供は村の宝」というキーワードを共通の目標に掲げたいと考えています。小・中が一緒になっ

て人数が増えても、同様に一人一人の様子をつかんで、適切に対応を進めていきたいと思えます。個々の力を伸ばすための鍛えの場であつたりとか、困ったときに相談、話ができる関係づくりなど、どの子も大切にしているという思いが伝わるような教育を進めていきたいと考えています。

# 一般質問 (安保泰男議員)



## ・地域防災体制について

**Q. 災害時の情報伝達体制について**

独居高齢者宅の火災の際、有線放送が鳴らなかった、いつから不具合があったのか分からないという声がありました。情報伝達体制はどうなっているか。

**A. 現在村内へ放送による周知は行っていません。**

【総務課課長】

以前は消防団を招集するため有線放送を使用していました。2011年から可茂消防事務組合で消防情報発信メールの運用が始まり、消防団との申合せによりメール受信のみで消防団が出勤できる体制とし、村内への放送による周知は行わなくなりしました。

**Q. 初期消火に係る人手不足、自主防災組織との連携の現状と課題は。**

火災現場ではさまざまなお声がありますが、初期消火に人手不足という声がありました。消防OBや地元住民が安全に参加できる体制やルールは整理されているか、自主防災組織との連携の現状と

課題は何か。

**A. 4月から消防OBによる火事等のみに出勤する機能別消防団員を任命します。**

【総務課課長】

体制やルールはありませんが、4月から消防OBによる火事等のみに出勤する機能別消防団員を任命します。自主防災組織の皆さんには、消防機関が到着するまでの初期消火は重要で、総合防災訓練における消防団指導による消火栓の取扱講習などに参加をいただいております。

**Q. 消火栓ホースの劣化について専門部署による定期点検の仕組みは。**

ホースの劣化、穴空きについて、自治会の管理となつていますが、この管理にかかる点検など専門部署による定期点検の仕組み等はあるのか。  
**A. 専門部署の定期点検の仕組みはありません。**  
【総務課課長】  
専門部署による定期点検の仕組みはありませんが、消防団による消火栓ホース一斉点検を今後行

う予定はあります。不具合のあったホースは、予算の許す範囲で交換を順次進めていきます。

**Q. 防災訓練の際、実放水の実施について**

防火訓練のときに実放水を行いたかったが、水槽の水が減るためできませんでした。この点につき何か対策はあるか。

**A. 実放水を行えるよう調整しています。**

【総務課課長】

防災訓練の際、要望があれば、実放水を行えるよう調整しています。消火栓の活用は消防車両が到着するまでの初期消火には有効ですので、訓練の際には例え放水しなくても、誰もが使えるようにするための訓練は必要と考えています。

**Q. 防火水槽の容量、平均的な放水可能時間はどのくらいなのか。**

今回の火事では防火水槽は実際に20分足らずで空になりました。初期消火で、消防が来るまで待つのか、空になったらどうするかという点も含め、水槽の容量及び平均

的な放水可能時間について伺いたい。

**A. 容量は、標準で40立方メートル。平均的な放水時間は40分ほど**

【総務課課長】

防火水槽の容量は標準で、40立方メートルとなつており、平均的な放水時間は40分ほどですが、状況によっては20分から30分程度で水が尽きることもあります。

**Q. 消火栓の最大の最大供水能力は。**

**A. 1つの消火栓で1時間使用できるように配水池の容量を想定。**

【産業建設課課長】

最大供給能力は算出できませんが、1つの消火栓で1時間使用できるように配水池の容量を想定しています。あくまで水道水ですので、消防署や消防団が水利確保できるまでの初期消火での活用となります。

**Q. 消火後の片付けの支援について。**

**A. 証明を持参すればゴミ処理は無料です。**  
【産業建設課課長】  
一般住宅が火災に見舞

われた場合、火災により焼けたものや消火活動で使えなくなった家具、衣類等火災ごみは、村の証明を持参すれば、無料でさきゆりクリーンパークで処分できます。

**Q. 被災された独居高齢者へのアフターケアは。**

**A. 身内がある場合と無い場合で異なります。**

【村民福祉課課長】

身内がある場合は、身内の方と検討し、無い場合は福祉担当、包括支援センター、社協の協議により、せせらぎ荘への入居を想定しています。

**Q. 実効性ある防災体制構築のための考えは。**

**A. 最も重要なのは、自助・共助・公助の連携**

【総務課課長】

最も重要なのは、自助・共助・公助が連携することであると考えます。特に火災のように迅速な初動が求められる場面では、住民の意識向上が不可欠であると考えます。誰でも分かり動けるよう、訓練等を通じて迷わず動ける環境を整えていきます。

# 一般質問 (桂川一喜議員)



## ・高齢者福祉について

**Q.** 全ての高齢者が尊厳ある生活ができる、敬愛されて生きがいを持って生活を送る、その実現をサポートするため村で取り組んでいることは。

厚生労働省のホームページには、「高齢者が、介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活を送ることができるよう、質の高い保健医療・福祉サービスの確保、将来にわたって安定した介護保険制度の確立などに取り組んでいます」と書かれています。全ての高齢者が尊厳ある生活ができ、敬愛されて生きがいを持って生活を送るために行っているサポートの取り組みを伺います。

**A.** 高齢者が尊厳ある生活ができ、敬愛され生きがいを持って生活を送るためには、十分な高齢者支援サービスを提供することが必要

【村民福祉課長】

国では住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築

を推進しています。村の高齢化率は7年度末に46%と予想されています。この現状を踏まえ、生涯にわたる健康づくりの支援として、すこやか

健康や、さわやか口腔健診、各種がん検診を実施しています。また、人生100年健康増進事業では、100歳まで自分の足で歩ける体づくりを目指しています。介護予防の取組では、介護予防教室や栄養改善教室、65歳以上の方を対象に運転免許更新対策講座を開催。生きがいの実現に向けては、地域社会とのつながりを深めるため、シニアクラブやシルバー人材センターへの活動助成、神戸、五加サロンの整備、越原センターの運営補助などを行い、生きがいづくり、健康づくりにつなげています。また、複合的福祉課題を抱える高齢者の対応として、見守り活動や地域のネットワークを活用しています。

**Q.** 今の時点で準備したキャンパスの続きの絵を描くためのサポートを

行っていることがあれば伺います。

村として高齢化率が46%と、ほぼ半数の住民が高齢者と呼ばれるときに、無地のキャンパスを準備して、どうぞ絵をお描き下さいと言っただけで終わっているのか、再度質問をします。

**A.** 時代に即した考えを知るため各種計画策定時に状況調査を実施し、国や県の施策を活用しながら事業を展開すべきと考えています。

【村長】

12年前の就任時と比べると在宅介護という考えから施設介護の考え方に変化してきました。いろいろな形で意見を聞きながら、それぞれの個別の課題に対して対応できる体制は、地域包括支援センター、在宅支援センター、老人保健施設も含めて、村の体制は整っていますので、個別の案件については心配はしていませんが、これからはフェーズが変わってきているという認識を持って、キャンパスに新しい色を加えて

いく必要があるという認識でおります。

**Q.** スポーツ、文化を支えることはひいては高齢者福祉につながると考えます。村はこの点どう取り組んでいるか。

人口の半分ほどが高齢者の場合、文化活動やスポーツを行うのも高齢者が中心となり、これを支えることは、結果として高齢者福祉の生きがいや、尊厳、そして社会から自分が必要とされているという思いを醸成することに繋がると考えます。この点に対し村の取り組みを伺います。

**A.** 豊かな生活をするために、文化活動や体育事業、スポーツ活動は大変重要と考えます。

【村長】

まず、文化の面は、文化協会のサークル活動を中心に展開されており、サークルの中には歌舞伎保存会のように、毎年のように素晴らしい舞台を繰り広げている団体もあり、高齢の方から青年層、壮年層、そして子供たちまでが一緒になって

一つの舞台をつくり上げています。また、体育活動も、人口の割には非常に活発に行われていると思っています。残念ながら、たくさんの競技はできませんが、地域を支えるスポーツ活動としてグラウンドゴルフやペタンクなど高齢者を中心に維持できていますので、今後もこの形をサポートしていく必要があると考えています。子供たちと大人の交流についても、せらぎ荘を訪問いただいたり、小学校・中学校の体育大会、運動会等にもたくさんの方にご参加いただいております、そのほかにも子供達とお年寄りが触れ合う事業として保育園児が地元のお年寄りやシニアクラブの皆さんと

一緒に野菜を作ったりといった活動も行われています。文化とか、体育活動が、その地域のお年寄りの健康増進、心のゆとり、豊かさを醸成していく、そういった行事については引き続き村として支援をしていきたいと考えています。

# 議会のおしあと



## 選挙後初議会で新体制がスタート

### 第2回臨時会 議長に 安江健二氏再選

一般選挙後初議会となる令和8年第2回議会臨時会は、4月27日に開会し、専決処分6件、財産の取得1件を審議し、それぞれ承認、可決を行い同日に閉会しました。

また、本臨時会では当日、役員選挙が行われ、議長、副議長を始め、常任委員長、議会運営委員長が決まりました。

議会構成は、下記をご覧ください。

### 監査委員に 安保泰男氏就任

前監査委員の辞任に伴う監査委員に安保泰男氏を選任同意しました。

### ◆専決補正予算6件

①令和7年度東白川村一般会計補正予算(第12号) 補正額1億2340万9千円減額：ふるさと  
思いやり基金積立金  
1728万1千円減額、  
ガバメントクラウド利用

料1541万6千円減額、簡易水道事業会計補助金986万9千円減額、林業活性化担い手育成補助金585万円減額、道路橋梁維持事業額、1173万1千円減額、公債費利子147万2千円減額、その他各種事業の確定による減額等

②令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 補正額2274万4千円減額

③令和7年度東白川村国保診療所特別会計補正予算(第5号) 補正額20万円追加

④令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 補正額140万円減額

⑤令和7年度簡易水道事業会計補正予算(第6号) 補正額1269万円減額

⑥令和7年度小規模集合排水処理事業会計補正予算(第3号) 補正額79万1千円減額

◆財産の取得

①学校系サーバー類の耐用年数経過に伴う機器更新

### 令和8年度

## 東白川村議会構成

議長 安江 健二  
副議長 安江 真治

### 【総務常任委員会】(議員全員)

委員長 今井 美和  
副委員長 今井 美道

### 【産業建設常任委員会】(議員全員)

委員長 今井 美道  
副委員長 安江 真治

### 【議会運営委員会】

委員長 今井 美道  
副委員長 今井 美和  
委員 安江 真治

### 【議会報編集委員会】※任意

委員長 今井 美和  
副委員長 今井 美道  
委員 議員全員

### 【議会改革検討委員会】※任意

委員長 安江 真治  
副委員長 今井 美和  
委員 議員全員

## 新しい議会体制の顔ぶれ



今井沙織 (1期)  
(平)



安江真治 (3期)  
(黒淵)



安保泰男 (3期)  
(大沢)



安江健二 (3期)  
(親田)



今井美和 (4期)  
(神付)



今井美道 (4期)  
(神付)

# 就任のごあいさつ



安江健二議長

この度の臨時議会にて、議長という大役にご推挙いただき、心より御礼申し上げます。議員各位を始め、皆さま方のご信頼を重く受け止め、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。ふるさと東白川村のために一杯の努力をさせていただきます。どうか宜しくお願い申し上げます。

今日私たちを取り巻く環境は大きく変化をしています。国外の情勢では、やはり中東紛争の悪化が一番の懸念事項ではないでしょうか。国際的な物流の要衝であるホルムズ海峡が封鎖され、世界の物流と貿易に多大な影響を及ぼしています。我が国は、原油の中東依存度が約94%と高い中、現状ホルムズ海峡の代替え輸送ルートは限られており、石油は燃料としての用途だけでなく、あらゆる工業製品の製造には無くてはならない物です。また、日本からは、中東向けに自動車の輸出もあり、今後の貿易に与える悪影響が非常に心配されます。一刻も早い停戦の合意

と戦争の終結が望まれるところであります。一方で令和7年を振り返ってみますと、全国的な米価高騰は政府備蓄米の放出などの要因もあり、現在では消費者米価が徐々に下がる傾向が見られます。東白川村の集落営農組合の活動も次第に地域に浸透してきました。農家にとっては、まずは再生産に結びつく生産者米価の安定が望まれます。7月8日からの局地的な豪雨は、新栗山を中心として県道越原付知線、恵那蛭川東白川線、村道、農道、河川に甚大な被害をもたらし、路肩の崩落や農業施設への被害などは80数か所に及びました。線状降水帯の発生と豪雨の威力のすさまじさを改めて見せつけられ、現在ではいたるところで復旧作業が進められています。村づくりの柱である『人口の安定』は最優先施策ですが、地域の課題も益々複雑化・多様化しています。こうした時代にあつて、議会の果たすべき役割は一層重要になっており、透明性の高い議会運営と迅速かつ的確な意思決定に努めてまいります。

微力ではございますが、全力を尽くして職責を果たしてまいりたい存でございます。関係者の皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



安江真治副議長

このたび、副議長に就任いたしました。責任の重さを真摯に受け止め、村民の皆様への付託に応えるべく、誠心誠意努めてまいります。

副議長の職責は議長を補佐し、議会運営の公正性と円滑性を確保することにあります。同時に、議会が本来果たすべき監視機能および政策提案機能を十分に発揮できるよう、議員間の活発かつ建設的な議論を促し、その環境づくりに尽力してまいります。

本議会は、今回の選挙において定数の7人から1人少ない6人となり、今まで以上に議員一人ひとりに課せられる責任は極めて大きいものがあります。その一方で、意思疎通のしやすさや機動力といった強みも有しております。こうした特性を最大限に活かし、地域の課題に迅速かつ的確に対応できる議会運営を目指してまいります。

また、議会を取り巻く環境が大きく変化する中、議会改革が

推進も重要な使命であると認識しております。住民の皆様にとつて分かりやすく、参加しやすい開かれた議会の実現に取り組んでまいります。

さらに、執行機関との関係においては、健全な緊張関係を保ちつつも、地域の発展という共通の目標に向け、是非々の立場で建設的な議論を重ねていくことが重要であります。住民の皆様の多様な声とその思いを村政に反映させることこそが、議会に課せられた使命であると考えております。今後も村民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。



当選証書をうける安江真治副議長